

課題名	42. ビワがんしゅ病の被害解析(病斑の有無と枝の生育との関係)							
成果の要約	1. 枝の長さは無病斑区が有病斑区より長く、枝数は無病斑区が有病斑区より少なかった。 2. 本病が発生すると短い枝が多数生じるものと思われる。							
成 績 概 要	ビワがんしゅ病病斑の有無と各季節枝の生育との関係							
	病斑の有無	年度	各季節枝	総枝長	累積枝長	総枝数	累積枝数	1枝当りの長さ
無	1年目		31.3		1.0			
	2年目	春枝	29.0	60.5	2.8	3.8	10.4	
		夏枝	85.2	145.7	6.5	10.3	13.1	
		秋枝	69.6	215.3	9.3	19.6	7.5	
	3年目	春枝	20.04	415.7	13.2	32.8	15.2	
		夏枝	341.3	757.0	20.8	53.6	16.4	
		秋枝	145.1	902.1	17.8	71.4	8.2	
	4年目	春枝	1,175.7	2,077.8	50.3	121.7	23.4	
		夏枝	2,068.4	4,146.2	75.8	197.5	27.3	
		秋枝	134.6	4,280.0	14.0	211.5	9.6	
	5年目	春枝	781.9	5,062.7	98.5	310.0	7.9	
		夏枝	3,844.5	8,907.2	123.5	433.0	31.1	
		秋枝	63.8	8,971.0	9.0	442.0	7.1	
	1年目			30.4		1.0		
	2年目	春枝	30.4	60.8	3.0	4.0	10.1	
	夏枝	86.4	147.2	6.5	9.5	15.5		
	秋枝	74.5	221.7	9.8	19.3	11.5		
3年目	春枝	232.2	453.9	15.3	34.6	15.2		
	夏枝	369.7	823.6	23.3	57.9	15.8		
	秋枝	178.8	1,002.4	25.8	83.7	6.9		
4年目	春枝	532.6	1,535.0	39.3	123.0	13.6		
	夏枝	1,947.7	3,482.7	100.3	123.3	19.4		
	秋枝	145.1	3,627.8	19.3	242.6	7.5		
5年目	春枝	727.1	4,354.9	122.5	365.1	5.9		
	夏枝	2,739.0	7,093.9	252.8	617.9	10.8		
	秋枝	92.4	7,186.3	13.8	631.7	6.7		
(果樹試験場)								
普及上の留意点								